

知多北部広域連合 在宅介護実態調査報告書 結果概要

令和8年5月

在宅介護実態調査実施概要

1 調査の目的

この調査は、知多北部広域連合の第10期介護保険事業計画の策定に向けて、基礎資料とすることを目的に、在宅で生活している要介護者及び介護をしている人を対象に、家族介護の実態、施設入所の検討状況、家族介護就労状況等を調査したものです。

2 調査対象

在宅で生活をしている要介護認定を受けている方のうち、「要介護認定の更新申請・区分変更申請」をされた方で、回答時点で要介護認定（要支援1・2を含む）を受けている方（知多北部広域連合管内にお住まいの方）

3 調査方法

郵送調査

4 調査期間

令和7年12月1日～令和7年12月22日

5 対象人数

1,000人

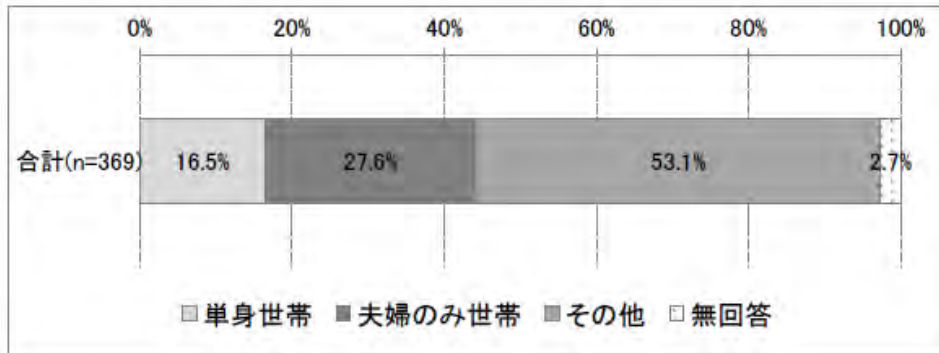
5 有効回答人数

369人

(比較:計画書P49)

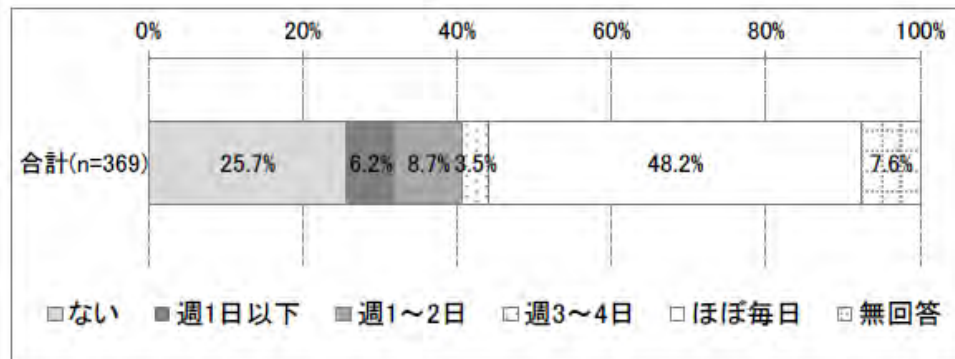
アンケート対象者の個人属性

世帯類型



□ アンケート対象者の世帯類型は、「単身世帯」(16.5%)、「夫婦のみ世帯」(27.6%)、「その他」(53.1%)となっています。

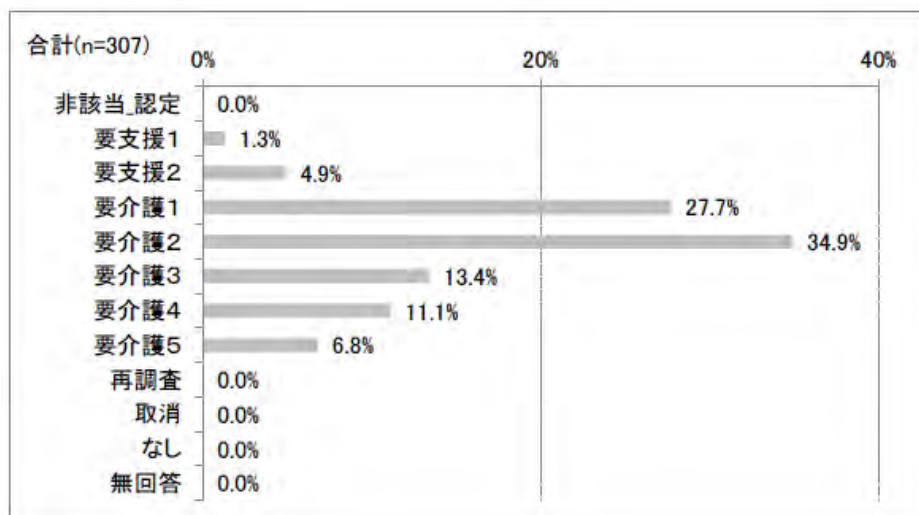
家族等による介護の頻度



□ 家族等による介護の頻度は、「ほぼ毎日」(48.2%)が最も高くなっています。

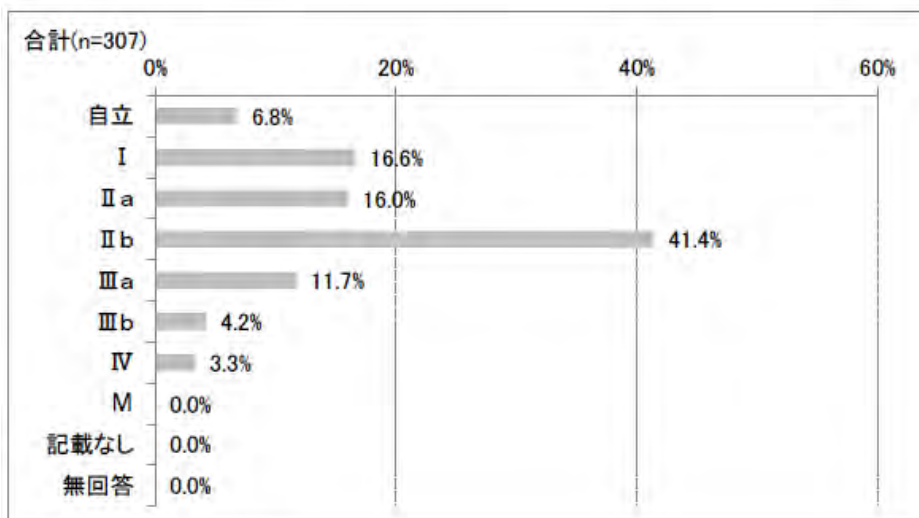
アンケート対象者の個人属性

二次判定結果（要介護度）



□ 二次判定結果（要介護度）について、「要介護2」（34.9%）が最も高く、これに「要介護1」（27.7%）、「要介護3」（13.4%）が続いています。

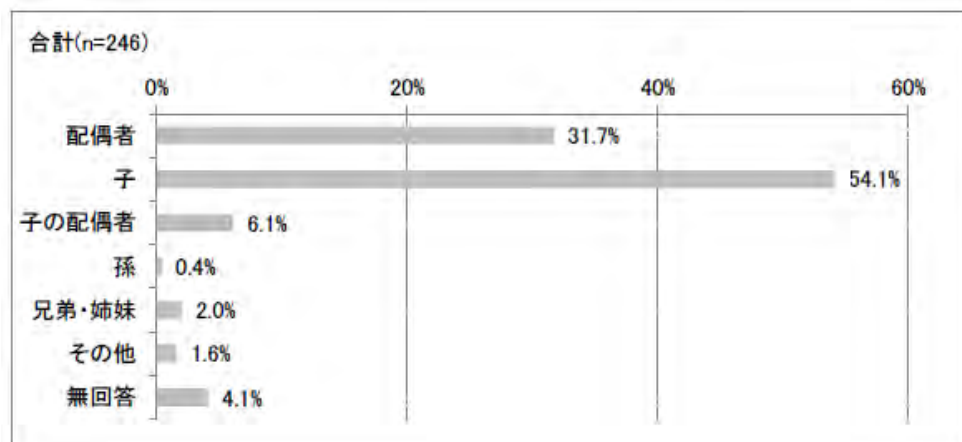
認知症高齢者の日常生活自立度



□ 認知症高齢者の日常生活自立度について、「Ⅱb」（41.4%）が最も高く、これに「Ⅰ」（16.6%）、「Ⅱa」（16.0%）が続いています。

介護者の個人属性 (在宅介護実態調査)

主な介護者の本人との関係

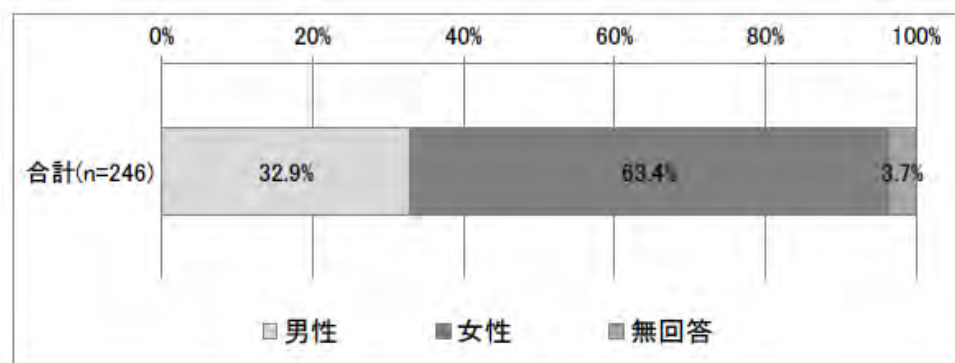


□ 介護者の個人属性をみると、「子」(54.1%)が最も高く、これに「配偶者」(31.7%)が続いています。

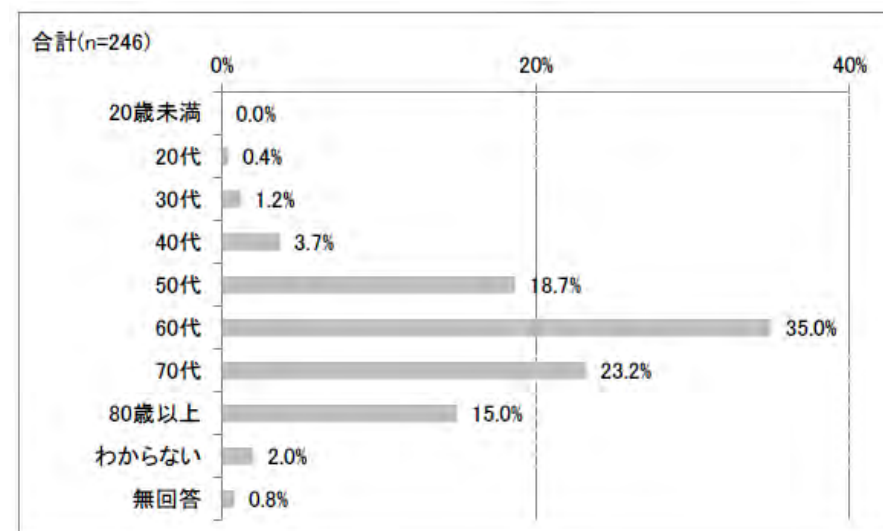
□ 性別をみると、「男性」が32.9%、「女性」が63.4%となっています。

□ 年齢をみると、「60代」(35.0%)が最も高くなっています。これに「70代」(23.2%)、「50代」(18.7%)、「80歳以上」(15.0%)が続いており、介護者の高齢化が進んでいます。

主な介護者の性別



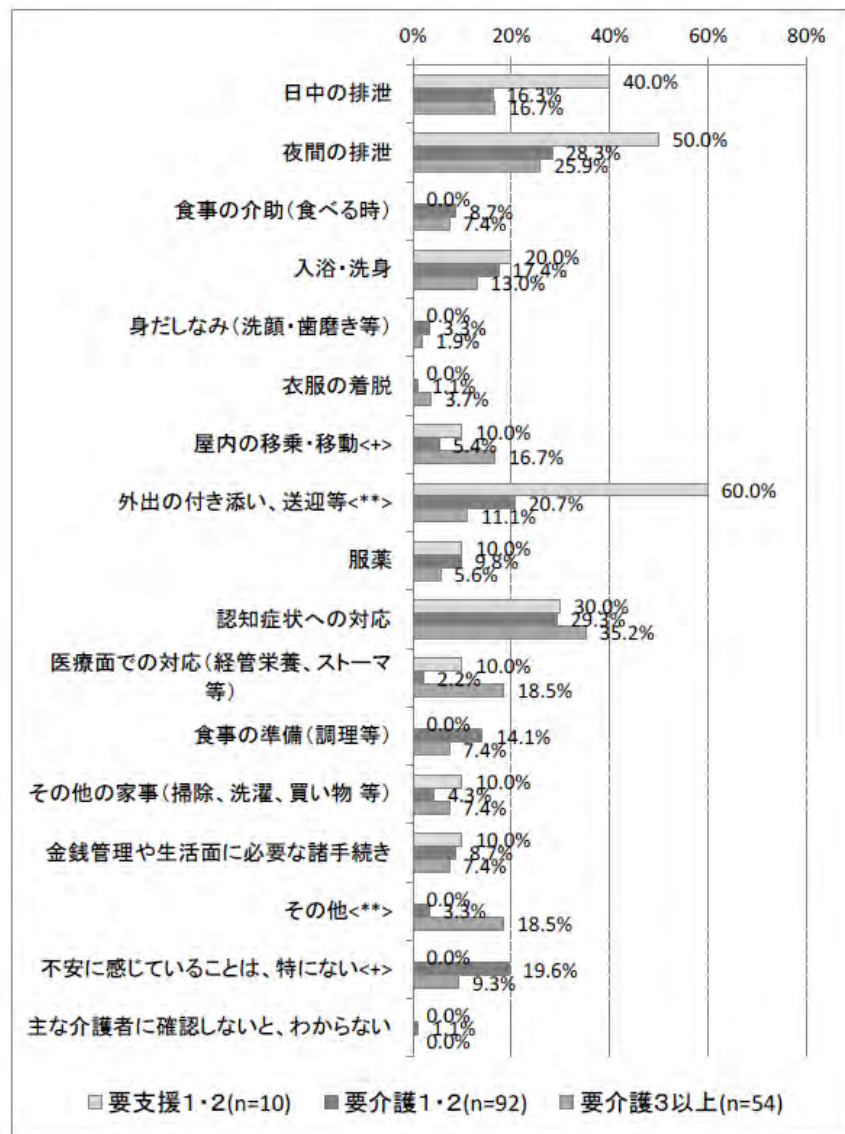
主な介護者の年齢



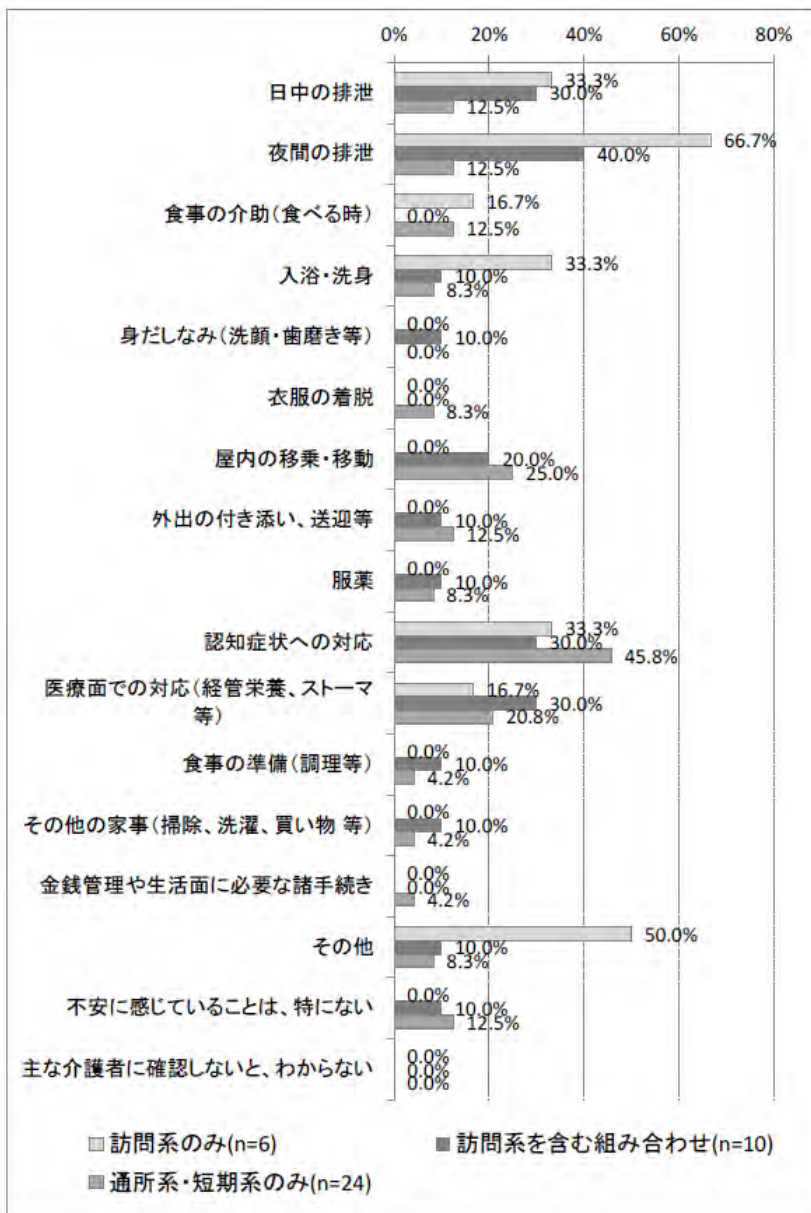
在宅介護での不安要因

(比較:計画書P51)

要介護度別



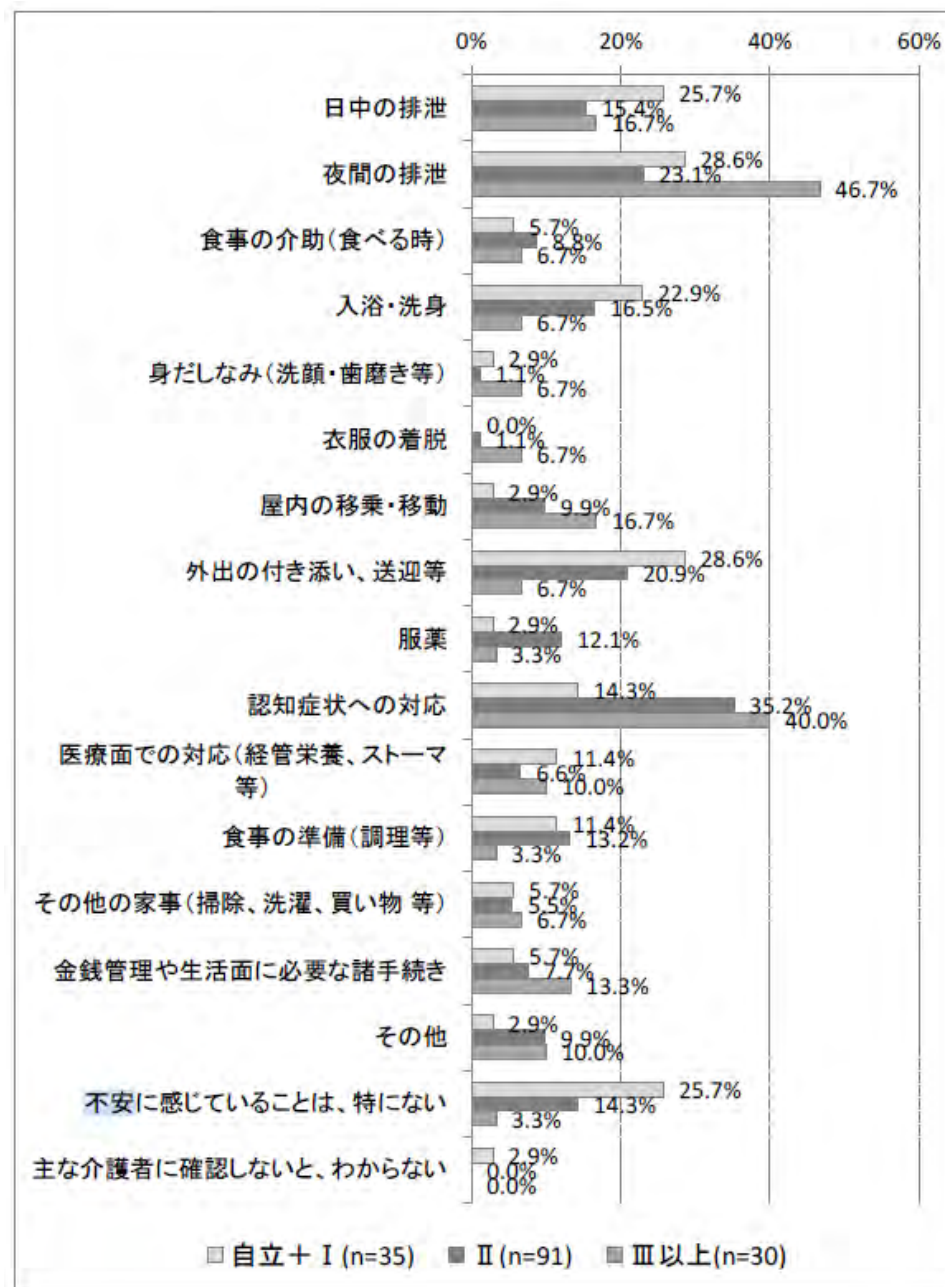
サービス利用別 (要介護3以上)



- 在宅介護での不安要因は、要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」、要介護1・2では「認知症状への対応」、要介護3以上では「認知症状への対応」が、それぞれ最も高くなっています。
- 要介護3以上のサービス利用別にみると、「屋内の移乗・移動」「認知症状への対応」は、「通所系・短期系のみ」で高くなっています。

在宅介護での不安要因

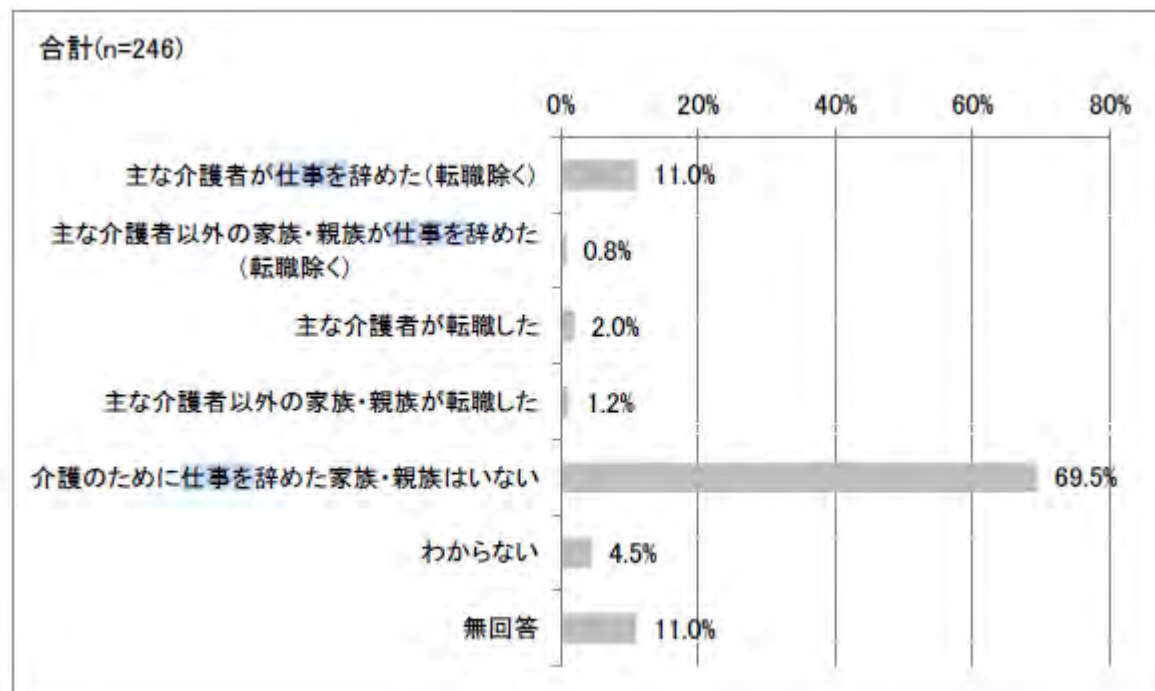
認知症自立度別



- 介護者が不安に感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が28.6%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「不安に感じていることは、特にな
- 「II」では「認知症状への対応」が35.2%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が23.1%、「外出の付き添い、送迎等」が20.9%となっています。
- 「III以上」では「夜間の排泄」が46.7%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が40.0%、「日中の排泄」、「屋内の移乗・移動」が16.7%となっています。

介護のための離職の有無

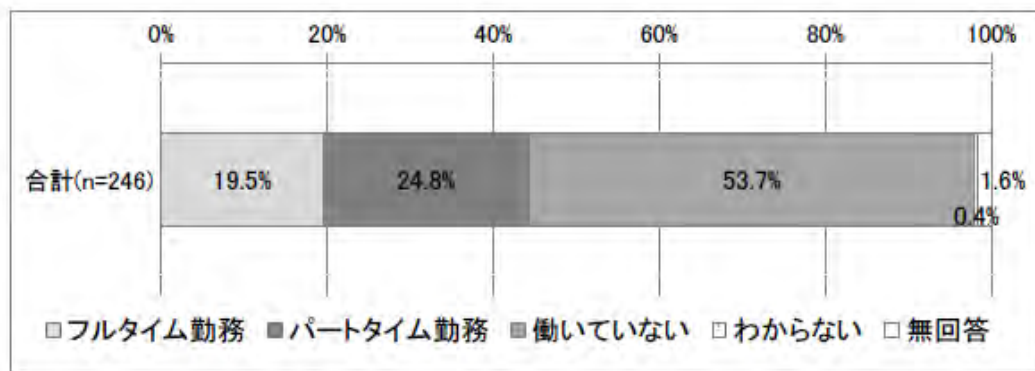
介護のための離職の有無



- 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない（69.5%）」の割合がもっとも高くなっています。
- また、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は11.0%となっています。

介護者の就労について

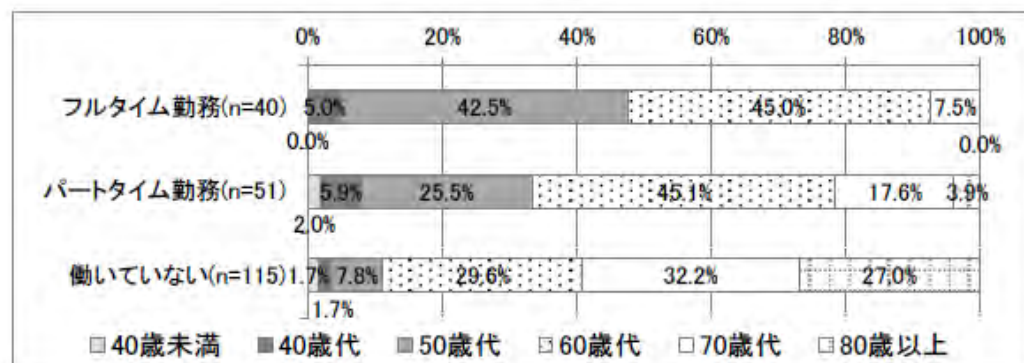
介護者の就労状況



□ 就労状況をみると、「働いていない」（53.7%）が最も高く、これに「パートタイム勤務」（24.8%）、「フルタイム勤務」（19.5%）が続いています。

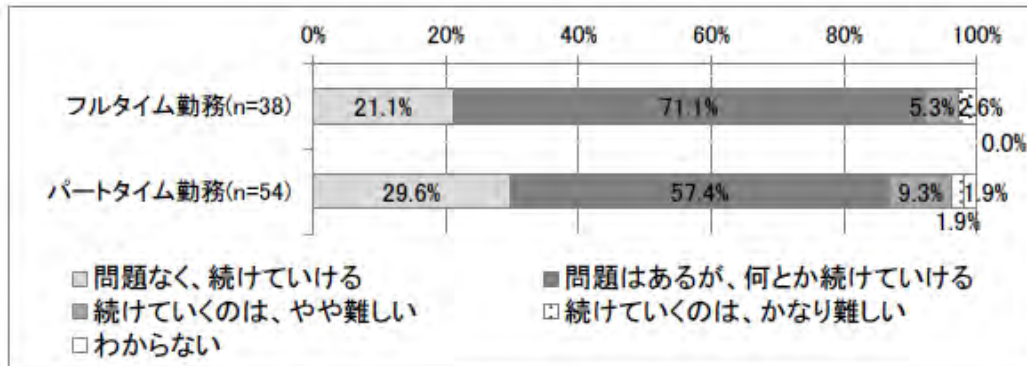
□ 就労状況別に年齢層をみると、「フルタイム勤務」では「60歳代」（45.0%）が、「パートタイム勤務」では「60歳代」（45.1%）が、「働いていない」では「70歳代」（32.2%）が最も高くなっています。

就労状況別・主な介護者の年齢

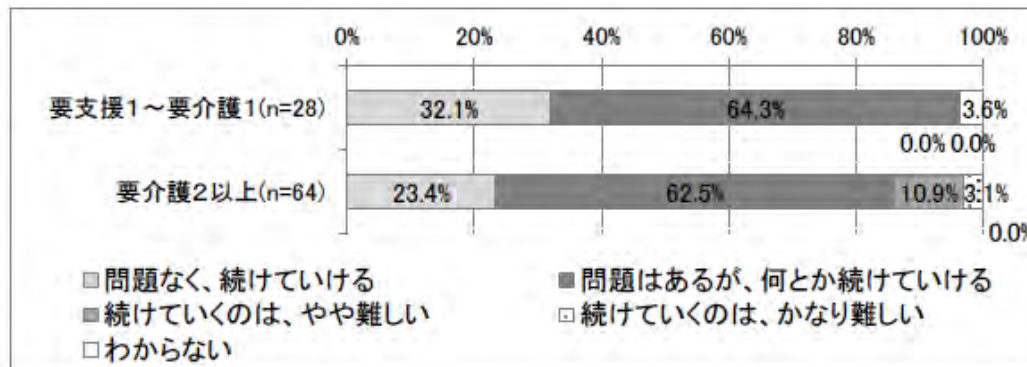


就労継続見込み

就労状況別



要介護度別（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

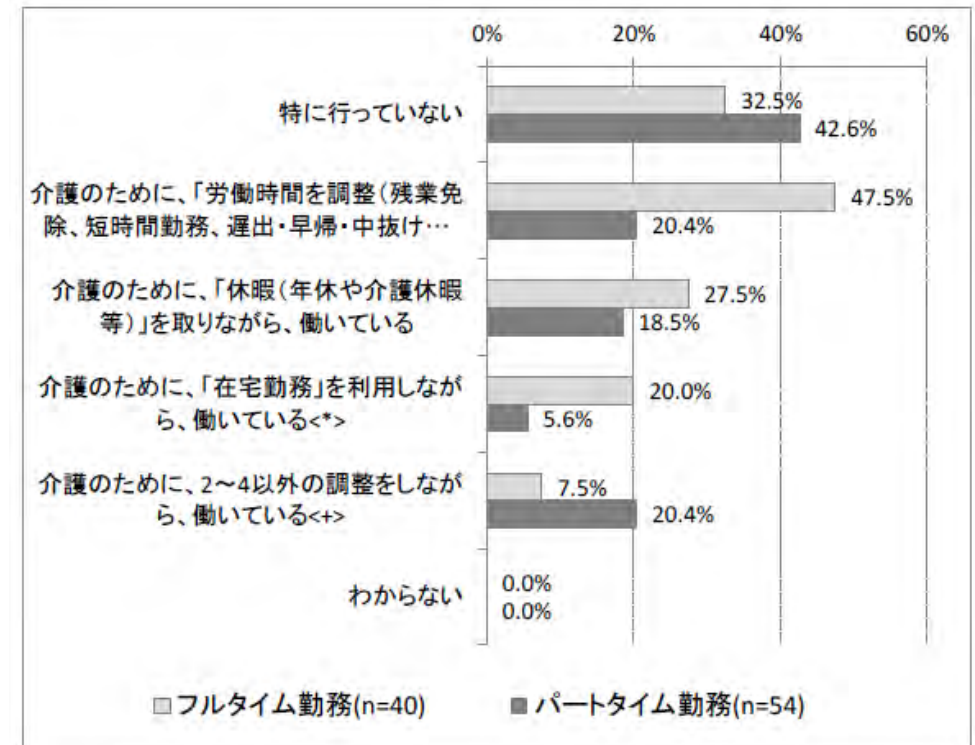


□ 今後就労継続が可能かどうか尋ねると、フルタイム勤務では「問題はあるが、何とか続けていける」（71.1%）が、パートタイム勤務では「問題はあるが、何とか続けていける」（57.4%）が最も高くなっています。

□ 要介護度別でみると、「問題なく、続けていける」の割合は、要介護1以下だと32.1%ですが、要介護2以上だと23.4%となっています。

介護のための働き方の調整（比較：計画書P52）

就労状況別（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

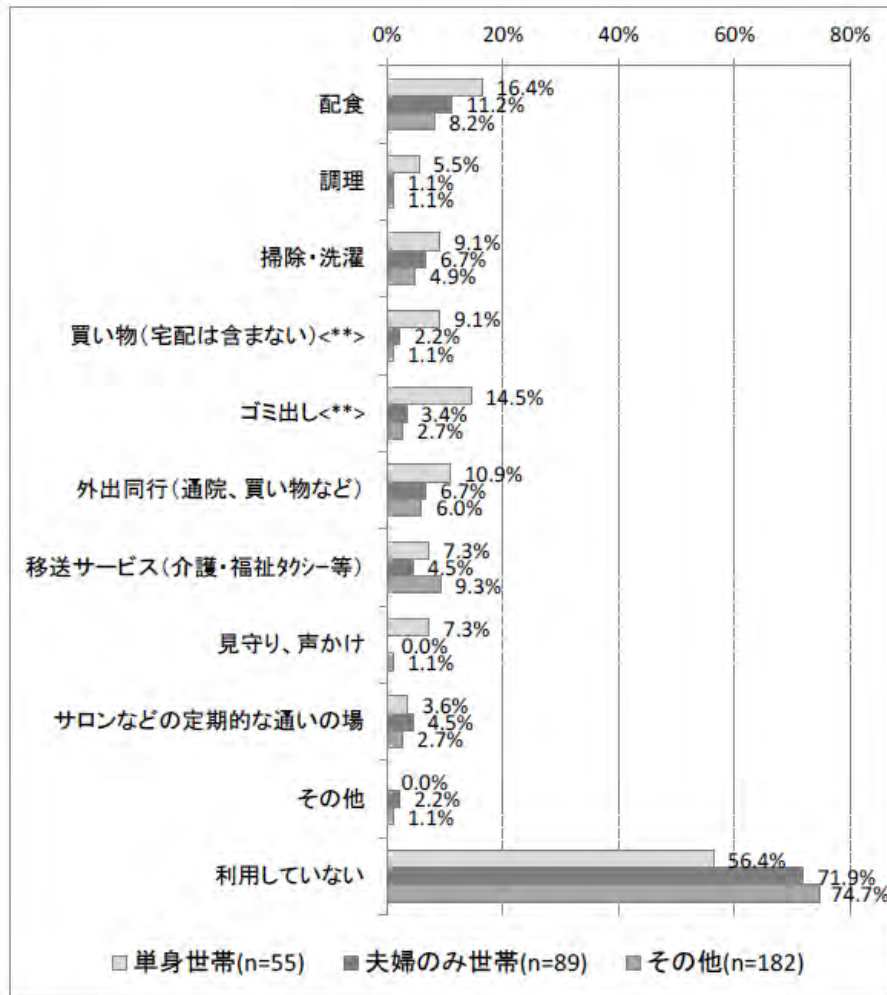


□ 「フルタイム勤務」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」（47.5%）が、「パートタイム勤務」では「特に行っていない」（42.6%）がそれぞれ最も高くなっています。

保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

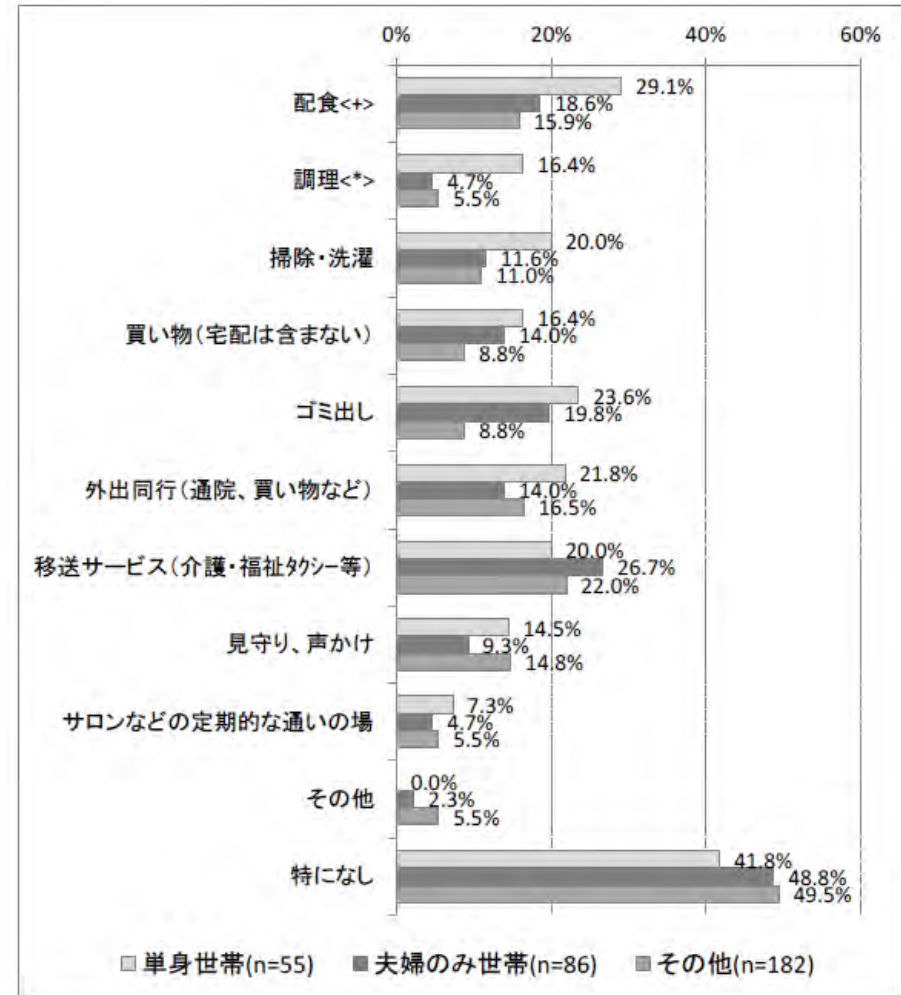
(比較:計画書P53)

世帯類型別保険外の支援・サービスの利用状況



□「単身世帯」では「配食」「調理」「掃除・洗濯」「買い物(宅配は含まない)」「ゴミ出し」「外出同行(通院、買い物など)」「見守り、声かけ」の割合が、他の世帯類型よりも高くなっています。

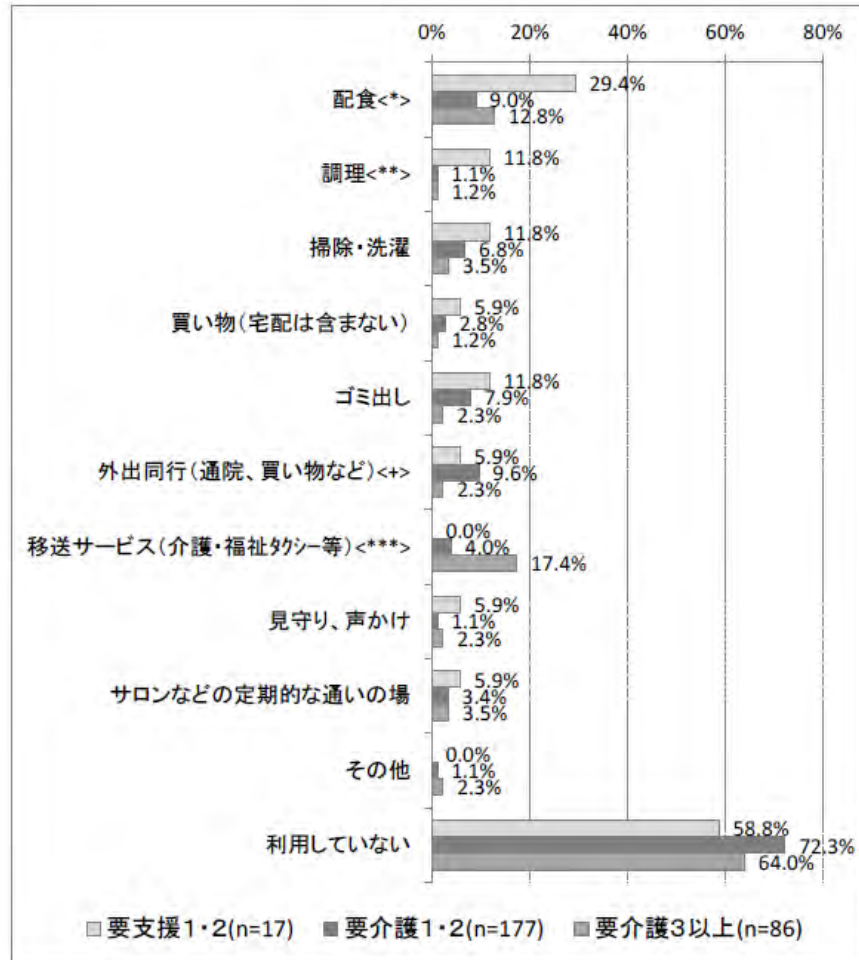
世帯類型別在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



□「単身世帯」では「配食」「調理」「掃除・洗濯」「買い物(宅配は含まない)」「ゴミ出し」「外出同行(通院、買い物など)」「サロンなどの定期的な通いの場」の割合が、他の世帯類型よりも高くなっています。
 □「夫婦のみ世帯」では「移送サービス」が高くなっています。

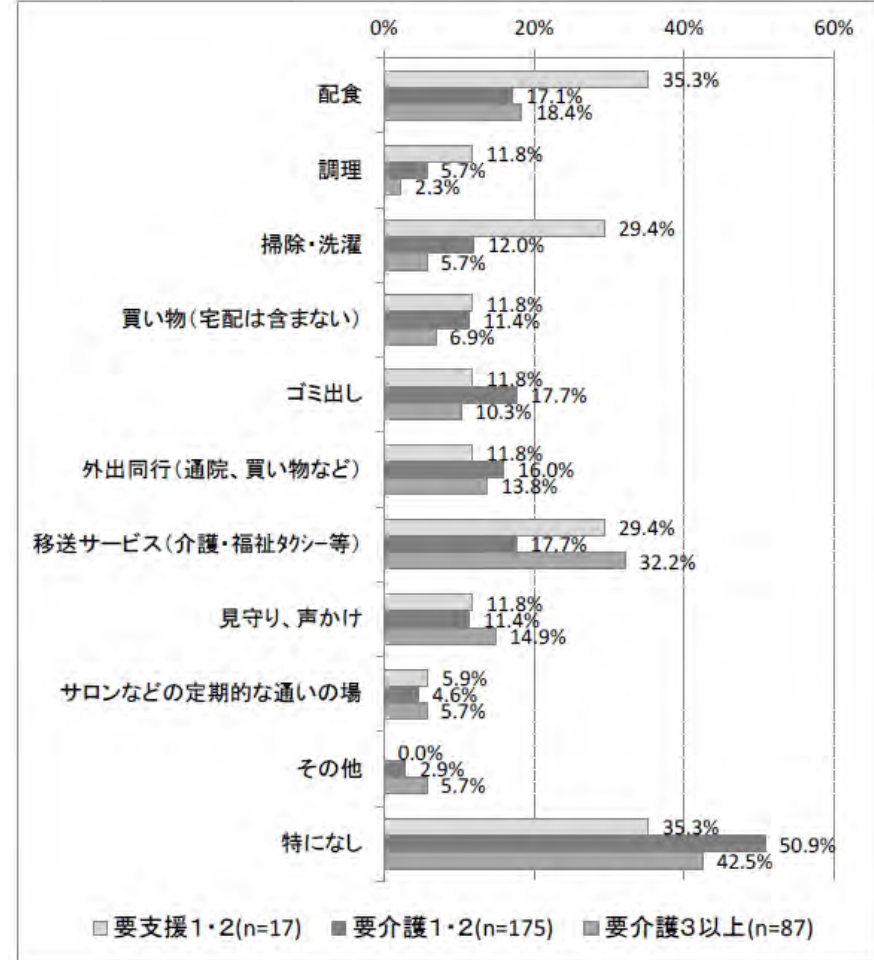
保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

要介護度別保険外の支援・サービスの利用状況



- 「要介護3以上」では「移送サービス」の割合が、他の介護度よりも高くなっています。
- 「要介護1・2」では「外出同行(通院、買い物など)」の割合が、他の介護度よりもやや高くなっています。

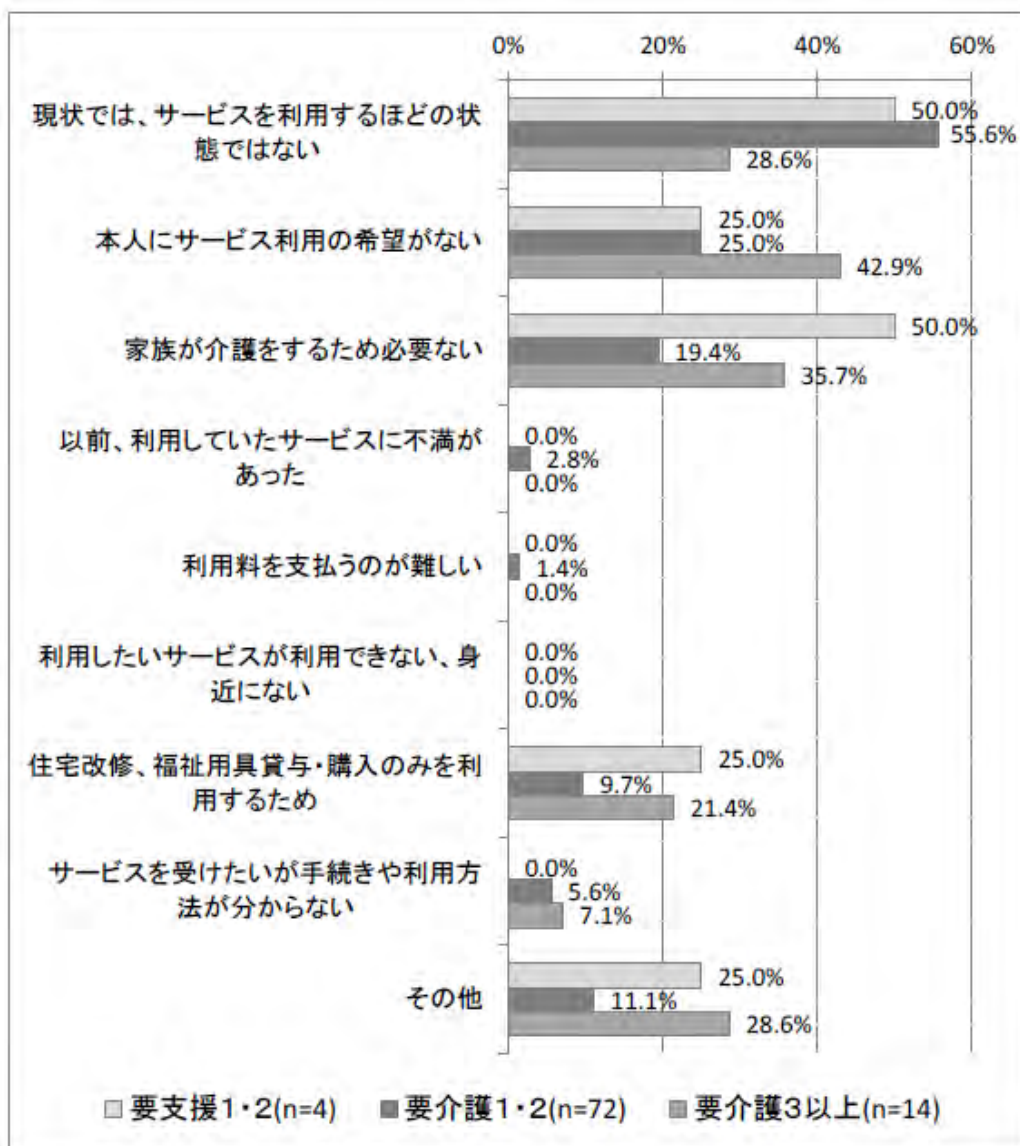
要介護度別在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



- どの介護度でも、「配食」「移送サービス」の割合が高くなっています。
- 特に「要介護3以上」では「移送サービス」が3割以上となっています。

サービス未利用の理由

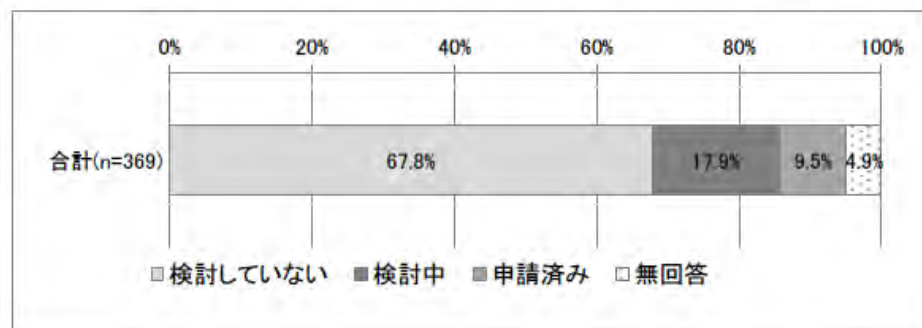
要介護度別



- サービス未利用の理由としては、要介護度にかかわらず「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が高くなっています。
- また、要介護3以上では「本人にサービス利用の希望がない」「家族が介護をするため必要ない」も高くなっています。

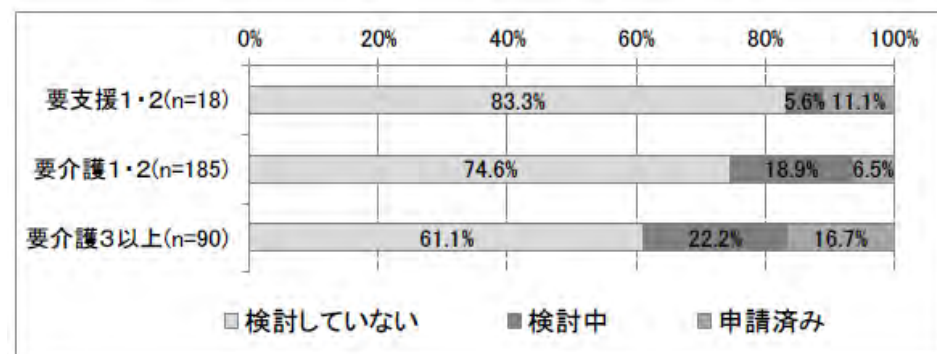
施設等の検討状況

全体



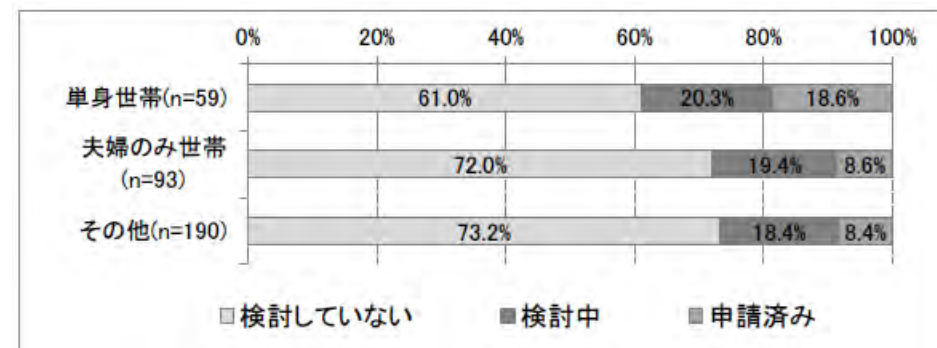
□ 施設等の検討状況は、「検討していない」(67.8%)、「検討中」(17.9%)、「申請済み」(9.5%)となっています。

要介護度別



□ 要介護度が上がるにつれて「検討中」が高くなっています。

世帯類型別



□ 「単身世帯」で「検討中」「申請済み」が高くなっています。